

令和 6 年度決算と令和 7 年度上半期予算執行の状況

市の財政がどうなっているのか、皆さんに納めていただいた市税などがどのように使われたのかを知っていただくために、毎年 6 月と 12 月に財政状況を公表しています。

令和 6 年度決算の詳細は、市 庁 の『決算の概要』および『財政白書』をご覧ください。  
※各表の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計額が総合計額と一致しない場合があります。  
▶ 財政課 課 室 042-460-9802

決算状況

市債の状況

一般会計、下水道事業会計ともに借入額が元金償還額を下回ったため、市全体の市債現在高が減少しました。

	令和5年度末 現在高(A)	令和6年度 借入額(B)	令和6年度 元金償還額(C)	令和6年度末現在高 (A) + (B) - (C)
一 般 会 計	456億2,996万円	6億8,040万円	45億6,637万円	417億4,399万円
下水道事業会計	60億1,948万円	2億8,740万円	3億6,063万円	59億4,625万円
合 計	516億4,944万円	9億6,780万円	49億2,700万円	476億9,024万円

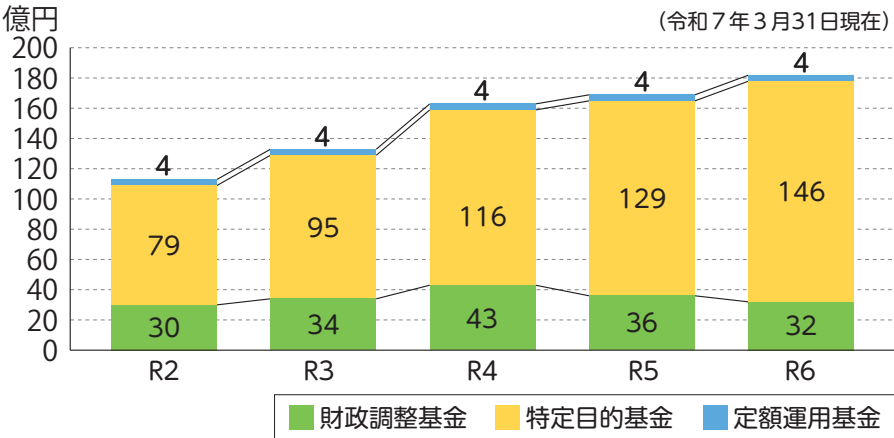
市債の令和 6 年度末現在高は、一般会計は、前年度末から 38 億 8,597 万円減となりました。下水道事業会計は、前年度末から 7,323 万円減となり、市全体では前年度末から 39 億 5,920 万円減の 476 億 9,024 万円となりました。

市債残高は前年に引き続き減となりましたが、今後、公共施設やインフラの更新などの金額の大きな借入れもあるため、さまざまな指標を用いて、適正な借入れや水準を保っていく必要があります。

なお、元利償還金等の負担が市の財政規模に対して適正かどうかを把握するための指標である公債費比率は 4.5%、実質公債費比率は 2.7% となっており、いずれも適正な水準を保っています。

基金状況

特定目的基金は増加しましたが、財政調整基金は減少しました。



令和 6 年度末(令和 7 年 3 月 31 日現在)の基金は、前年度より 12 億 6,611 万円増の 182 億 7,681 万円となりました。

年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金は、前年度より 4 億 4,320 万円減の 32 億 335 万円となりました。

特定目的基金は使い道が定められている基金であり、令和 6 年度においても各々の目的に応じて積み立てや取り崩しを行いました。主に、都市計画税の収入が都市計画事業費を上回った分を、都市計画事業基金へ積み立てたため、特定目的基金全体の令和 6 年度末現在高は、前年度より 17 億 922 万円増の 146 億 2,430 万円となりました。

国民健康保険事業の現況

▶ 保険年金課 課 室 042-460-9821

決算の状況

令和 6 年度国民健康保険特別会計の決算額は、歳入が 196 億 3,642 万円、歳出が 193 億 3,910 万円となり、差し引き 2 億 9,732 万円、形式上は黒字となりました。しかし、国民健康保険特別会計は毎年、財源不足を一般会計からの繰入によって補填している赤字財政で、令和 6 年度は 23 億 1,138 万円の繰入を行っており、厳しい財政状況となっています。

歳入

都支出金(124 億 3,832 万円…63.3%)、国民健康保険料(36 億 3,402 万円…18.5%)、一般会計繰入金(32 億 9,185 万円…16.8%)が主な財源で、全体の 98.6% を占めています。なお、一般会計繰入金の中には、赤字補填としての法定外繰入金が含まれています。

一般会計繰入金の状況

一般会計繰入金には、「法定内繰入金」と「法定外繰入金」があります。法定内繰入金は、法で定められた保険料軽減に伴う財源の補填分、出産育児一時金および事業運営に必要な事務的経費に充てるもので、令和 6 年度は 9 億 8,047 万円です。

一方、法定外繰入金は、保険料の負担緩和などのために充てるもので、令和 6

年度は、令和 5 年度に比較し 2 億 1,406 万円増の 23 億 1,138 万円となり、1 世帯当たり 2 万 2,471 円の負担となっています。

歳出

保険給付費(121 億 2,548 万円…62.7%)、国民健康保険事業費納付金(65 億 4,452 万円…33.8%)で、全体の 96.5% を占めています。

加入者の医療費状況

一般被保険者の加入者数は年平均 3 万 7,178 人、医療費総額は 143 億 318 万円、1 人当たりの医療費は年間 38 万 4,721 円となっています。

本市の国民健康保険事業は、医療給付費などの歳出に対応する財源の確保が難しくなっており、引き続き厳しい財政状況となっています。

加入者の皆様ご自身が健康管理に努めていただくとともに、厳しい財政状況の折、保険料の納付にご協力をお願いします。

年末！事故多発注意！

問 田 無 警 察 署 課 室 042-467-0110 ▶ 交通課 課 室 042-439-4435

年末にむけて交通事故が多発します。

飲酒運転禁止

忘年会などで飲酒の機会が増える年末は飲酒運転や路上寝込みによる事故が懸念されます。車はもちろん自転車も飲酒運転は絶対に禁止です。「飲んだら乗らない」「飲み過ぎない」を徹底し、一人ひとりが「飲酒運転をしない・させない・許さない」意識を持ちましょう。

夕暮れ時は要注意

夕暮れ時から夜にかけての時間は帰宅下校時間帯に重なり事故が多発します。ドライバーの方は早めのライト点灯とハイビームを上手に活用し、速度を落として走行しましょう。歩行者の方は自身の存在を知らせるために有効な反射材を身につけ、明るい服装を心掛けましょう。

